

2. ボランティアコーディネート (ボランティア相談・センター事業の広報)

ボランティア・NPO活動センターでは、ボランティア活動を希望する学生へ情報提供等を行い、地域団体のボランティア募集の相談に応じるなど、この両者をつなぐ役割を担っています。

センターには学生スタッフが所属しており、相談に来室する学生の初期対応を担い、同じ学生ならではの視点でボランティア活動の紹介を行っています(ピアサポート)。その他の専門的な知識が必要なケースはボランティアコーディネーター(専門職務職員)が対応しています。さまざまな相談対応を通して、ボランティアへの理解と参加の促進に努めています。

学内にセンターが存在することにより、学生や教職員の自発的かつ主体的なボランティア活動へのアクセスが容易となり、地域貢献にもつながっています。また、これらの活動を通して、学生自身の成長にもつながっています。

2022年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、対面での課外活動の制限がありました。しかし前年度に比べると活動制限は緩和され、また学生の活動意欲も高まりを見せ、相談件数が前年度に比べて増加しました。コロナ禍前の水準には届きませんでしたが、学生の何かしたい!という思いがより強く感じられた1年になりました。

また、広報手段に関して、従来のポスター掲示等も行いながら、引き続きSNSやHPなどを活用しました。中でもTwitterはフォロワー数が1,300人を超え、有用な広報ツールとして機能しています。今後も状況を見ながら、学生の希望に沿ったボランティアコーディネートや広報が出来るよう、試行錯誤を続けていきます。

ボランティアコーディネート集計(月別、活動希望分野別、学部別相談者数)

■月別相談者数(複数回答あり)

(件数)

月	ボランティア相談		学生スタッフ		センター企画		情報収集		その他		計	
	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田
4月	36	39	73	46	0	2	11	15	3	2	123	104
5月	24	17	18	26	1	4	2	13	1	0	46	60
6月	25	17	4	3	0	4	3	6	2	2	34	32
7月	13	17	0	0	1	3	6	4	1	1	21	25
8月	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
9月	4	10	0	2	0	0	1	0	1	0	6	12
10月	12	10	0	1	0	0	4	3	0	0	16	14
11月	6	6	2	1	1	0	6	0	0	1	15	8
12月	5	3	0	0	0	0	5	0	3	1	13	4
1月	2	5	3	1	0	0	1	1	0	0	6	7
2月	5	5	0	0	0	0	1	0	0	2	6	7
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	132	132	100	81	3	13	40	42	11	9	286	277
両キャンパス年間計												563

■活動希望分野別相談者数（複数相談あり）

(件数)

希 望 分 野	相談者数		計
	深草	瀬田	
子ども・青少年	81	100	181
高齢者	9	32	41
障がい児・者	16	30	46
医療	9	12	21
国際協力・交流・在住外国人支援	55	29	84
人権	16	19	35
貧困	22	22	44
環境	57	64	121
災害	25	38	63
文化・芸術	21	18	39
スポーツ	16	25	41
動物愛護	23	19	42
平和	16	13	29
まちづくり	37	57	94
農業	17	37	54
中間支援	3	2	5
その他	8	8	16
合 計	431	525	956

■学部別相談者数

(件数)

所 属	相談者数		計
	深草	瀬田	
文学部	63	0	63
経済学部	27	0	27
経営学部	17	0	17
法学部	56	0	56
理工学部	0	2	2
先端理工学部	1	33	34
社会学部	2	113	115
政策学部	30	0	30
国際学部	45	0	45
農学部	0	55	55
短期大学部	3	0	3
大学院	0	0	0
他大学	0	0	0
教員	0	0	0
職員	1	0	1
無記入	1	0	1
合 計	246	203	449

■団体登録制度とボランティア募集情報シート

ボランティア・NPO 活動センターでは、ボランティアを募集する団体との協力・連携の体制を整備し、その団体の活動内容を把握することを目的として、団体登録制度を設けています。

学内でのボランティア募集情報の提供は、「団体登録票」を提出していただいた登録団体に限定しています。また、登録団体から広報依頼を受けたボランティア募集チラシは記載情報（実費弁償や活動保険の有無など）にばらつきがあるため、ボランティア相談に来室する学生に対してより詳しい内容の情報を提供することを目的として、団体登録時に提出されるボランティア募集情報シートを活用しています。

このボランティア募集情報シートを、ボランティア相談に用いることで、学生スタッフによるコーディネートで情報を共有しやすくしています。

2022年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で多くの団体がボランティアの受け入れを中断されていました。そのため、団体登録の数自体がコロナ禍以前に比較して少ない状況でした。状況が刻々と変化中、登録団体のボランティア受け入れの状況把握に努め、感染症対策をど

のように講じて活動されているのかについてもヒアリングしました。ボランティアの受け入れを中断されている状況でも地道に連絡を取り、関係を維持することで、活動が再開されたときに、より一層の連携が図れるのではないかと考えます。

コロナに対する認識が変わりつつある今、多くの団体がボランティアの受け入れが再開されると思います。その時にスムーズに登録団体と学生をつなぐ事ができるように情報の収集を継続し、登録団体と連携した活動を摸索していきます。



■団体登録数

(件数)

分野	京都府	滋賀県	その他 関西	関西 以外	合計
子ども・青少年	24	16	9	2	51
高齢者	2	1	2	0	5
障がい者	8	13	1	0	22
医療	1	1	0	0	2
環境	3	7	1	2	13
国際協力・交流・在住外国人支援	6	4	3	1	14
人権	0	0	0	0	0
災害	0	0	0	0	0
文化・芸術	5	2	0	0	7
スポーツ	1	4	2	0	7
動物愛護	0	0	0	0	0
平和	0	1	0	0	1
まちづくり	6	4	1	0	11
農業	1	0	0	0	1
貧困	0	1	0	0	1
中間支援	3	4	0	2	9
その他	2	3	1	0	6
合 計	62	61	20	7	150

■外部団体来室内容と広報依頼件数

ボランティア・NPO 活動センターには、多くの団体からボランティア募集やイベント・講座・セミ

ナーなどの広報依頼があります。その他では他大学からの視察、行政との連携に関する相談、さまざまなケースの来室に対応しています。2022年度の主な受付内容等については以下のとおりです。

■相談内容別（1件あたり複数内容の受付あり）

(件数)

相談内容	深草	瀬田	計
広報依頼（ボランティア募集）	75	130	205
広報依頼（ボランティア募集以外※）	327	219	546
視察・ヒアリング	5	3	8
取材	0	2	2
その他	3	6	9
合 計	410	360	770

※講座、セミナー、イベント開催案内、ニュースレター等

■受付団体種別

(件数)

受付団体	深草	瀬田	計
NPO 法人	74	67	141
社会福祉法人	80	82	162
一般社団・財団法人	23	14	37
公益社団・財団法人	72	70	142
その他の非営利法人	12	6	18
任意団体	0	40	40
幼稚園・保育園等	0	0	0
児童館・学童保育	1	3	4
小・中・高	0	1	1
特別支援学校等	0	0	0
教育委員会	4	3	7
他大学・専門学校	21	8	29
企業	27	26	53
公共施設・社会教育施設	36	11	47
行政機関	31	26	57
その他	3	1	4
学内	4	1	5
一般個人	1	1	2
合 計	389	360	749

■広報依頼分野別（複数回答あり）

(件数)

広報依頼分野別	深草	瀬田	計
子ども・青少年	87	83	170
高齢者	4	15	19
障がい児・者	16	25	41
医療	3	6	9
国際協力・交流 在住外国人支援	85	38	123
人権	6	4	10
貧困	9	16	25
環境	37	38	75
災害	1	8	9
文化・芸術	7	2	9
スポーツ	2	7	9
動物愛護	0	0	0
平和	13	5	18
まちづくり	11	31	42
中間支援	1	2	3
農業	33	5	38
その他	95	103	198
助成金	8	16	24
総合情報	43	26	69
ニュースレター	195	138	333
合 計	656	568	1,224

チラシの配架やポスターの掲示

数あるボランティア情報やイベント・講座・セミナーなどの情報を多くの学生に提供するために、パンフレットスタンドにチラシを見やすく配架し、センターの掲示板に情報を掲示しています。

センター事務室内外でのラックの設置とチラシの整理、掲示板の管理などを学生スタッフが中心となって行っており、学生に向けたアプローチを工夫するとともに、この活動をコーディネートに活用しています。



講義やゼミ（演習）でのセンター紹介

センターではボランティア活動のきっかけ作りを目的として、講義やゼミ（演習）の中で、センターの紹介を行っています。

教員が希望する時間内で、コーディネーターと学生スタッフがセンターを案内し、センターの活用方法等を紹介しています。ボランティアに関心があってもなかなかセンターに来室するまでに至らない学生に、学内にボランティアの相談ができる場所があるということを知ってもらい良い機会となり、今後も継続していきたい事業です。2022年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、前年度に比べると依頼は増えました。

ホームページ

センターに関連する事業を積極的に発信しています。今後も閲覧する方にとって情報を得やすく、ボランティア活動のきっかけとなるようなホームページ運営を行っていききたいと思います。



【センター紹介実施一覧】

	日	対象学部	担当教員名	科目名等
1	4月12日(火)	社会学部	高松智画	社会福祉実践論
2	4月14日(木)	社会学部	高松智画	基礎ゼミ
3	4月14日(木)	社会学部	筒井のり子	基礎ゼミ
4	4月15日(金)	農学部	嶋田大作 他5名	入門ゼミ
5	4月21日(金)	社会学部	柴田和子	NPO・NGO 論
6	4月21日(木)	社会学部	土田美代子	基礎ゼミ
7	4月21日(木)	社会学部	立田瑞穂	基礎ゼミ
8	4月27日(水)	経済学部	松島泰勝	基礎演習
9	4月27日(水)	経済学部	辻田素子	基礎演習
10	5月18日(水)	法学部	井出真也	基礎演習
11	5月2日(月)	留学生別科	南谷由紀	JEP2 総合
12	6月23日(木)	短期大学部	中川昌幸	余暇活動論
13	10月14日(金)	国際学部	古川秀夫	NGO/NPO 論
14	12月19日(月)	農学部	金子あき子	フードビジネス マーケティング論
15	12月1日(木)	短期大学部	遅 力裕	地域福祉と 包括的支援体制

ボランティア・NPO 活動センター通信

学内向けのニュースレターを4月に発行しました。センターの自主事業や学生の各種活動の報告と予定のお知らせ、センター紹介の案内などを掲載しました。

SNS (Facebook, Twitter)

深草と瀬田両キャンパスのコーディネーターと学生スタッフが協力しながら、タイムリーな情報を随時発信しました。各種センター事業、学生企画に関する情報だけでなく、学生スタッフの日常などを切り取り、センターの活動について、学内外に幅広く知っていただくように工夫しています。

2022年度より開始した「質問箱」を今年度も継続して設置し、学生からの質問を受け付けました。コーディネーターからだけでなく学生スタッフからも定期的にツイートを行い、効果的な情報提供を行いました。フォロワー数も増え、1,300フォロワーを突破しました。(2023年6月1,326フォロワー)。

【Facebook 配信数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
配信数	3	1	10	6	14	6
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配信数	9	5	2	1	9	5
				合計	71	

【Twitter 配信数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
配信数	53	35	44	24	31	27
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配信数	45	26	22	16	29	30
				合計	382	



Facebook



X (旧 Twitter)



ホームページ

事業名	サークルへのボランティア促進・支援『サークル×ボランティア活動相談会』
実施期間	2022年4月～2023年3月（随時）
参加サークル	Sept Couleur／グローバルサポーター／沖縄三線サークルうみいろ／ 生協学生委員会／学術文化祭実行委員会・龍谷祭実行委員会／宗教学研究会／ トワイライトホーム／龍谷 FARM

1. 経緯・目的

本学学生のボランティア促進の一環として、学内サークルに向けた地域活動のサポートや関係構築、センターの認知度向上を目指し、この相談会を適宜開催しています。

「自分たちの活動で地域に貢献したい」「活動の場を探している」「サークルの運営について悩んでいる」など、学内サークルから寄せられるさまざまな相談に個別対応しています。

2. 概要

2022年度の相談は、以下のとおりです。

（※はボランティア系サークル）

	対応	サークル名
4月2日（土）	瀬田	Sept Couleur ※
4月8日（金）	深草	グローバルサポーター
4月14日（木）	瀬田	うみいろ
4月19日（火）	深草	生協学生委員会
6月2日（木）	深草	文祭実行委員会・龍祭実行委員会
7月27日（水）	深草	宗教学研究会
1月25日（水）	瀬田	トワイライトホーム ※
2月17日（金）	瀬田	龍谷 FARM
2月27日（月）	瀬田	龍谷 FARM

3. 参加者の声・得られた効果など

主な相談内容は以下のとおりです。

【地域でのボランティア活動や運営に関する相談】

- ・自分たちの活動を地域貢献に活かしたいので、どのようなやり方や貢献先があるかアドバイスが欲しい。
- ・既にいくつかの地域団体に活動先しているが、活動先によって関われるメンバー数の多寡があるため、どうしたらいいか。
- ・新歓で入ったメンバーに対して、地域での活動先をいくつか準備しておきたいので、紹介して欲しい。

【学内での活動や運営に関する相談】

- ・自分たちが主催する学内イベントへの参加者を集めるにあたり、いろんなサークルとの交流の機会を持ちたい。
- ・学内イベント実施のために、障がい者対応の勉強会を行いたい。レクチャーしてくれる先を紹介して欲しい。
- ・サークルメンバーのモチベーションアップの方法を模索している。



自分たちの使用していた楽器を役立ててもらおうと、地域団体に譲渡しました（沖縄三線サークルうみいろ）

4. コーディネーター所感

コロナ禍が影響した相談内容が半分程度を占めていた2021年度に比べて、2022年度は相談対応したサークル数も増えたが、どのサークルもこの2年間止まっていた活動を本格的に再開する中での悩みや、新たな活動の展開を模索している様子が伺えました。

今回、センターの他事業『ボランティアリーダー養成講座』に参加したことがきっかけで、この相談会に申し込んできたサークルもあり、今後もそういった場での効果的な広報を考えて行きたいと思います。

また、新たなボランティア系サークルも少しずつ増えています。それらのサークルに対しても、どのような活動に取り組んでいるかや、運営していくうえで何か困っていることはないかなどを、こちらからも積極的に知っていくことが必要だと感じています。

〈報告者：ヒギンズ 尚美

（瀬田キャンパス コーディネーター）〉